

これからの行事（3月の行事）

- 3日 ㊸事務局会議
- 7日 甌ツーリズム地域振興部会
- 8日 コミュニティマーケット前日移動
- 9日 コミュニティマーケット
- 10日 コミュニティマーケット移動日
- 16日 「結ラインこしき」内覧会長浜 13:00
- 17日 ㊹事務局会議
- 19日 48地区コミュニティ協議会会長会議
- 24日 第5回コミ協合同定例会

林道大内浦線の路面一部改修工事が始まります。通行止めの日もあります。注意！

西山地区

コミュニティ協議会だより

【(西風) 令和7年度3月号】

発行：西山地区コミュニティ協議会

会長 中村史傳

令和7年3月7日発行

薩摩川内市下甌町瀬々野浦 1194

TEL 09969-5-0122

FAX 09969-5-0355

令和6年度

自主防災訓練



見出しの消火訓練が2月12日コミュニティセンター2階で開催され雨にもかかわらず15名の方々が参加されました。前半は東日本大震災の教訓が画像で説明され、『想定外』という表現は災害では使わないように、普段からあらゆる可能性を考えて行動を設定しなければならぬという説明がありました。講演の後、雨も上がり

玄関前で消火器の使用経験を積んでもらいました。

単純な作業ですが反復して練習することが重要です。

頭と体に記憶させて、とっさに行動できることが大切です。

消火器が使えるのは初期消火の段階で、燃え上がってしまった火勢には効き目がありません。

その時は安全にその場を離れ二次災害が発生しないようにという説明でした。



小池山（平良地区）

鹿の子百合自生地山焼き

先月号でお伝えしたように、1月19日に山焼きのための草刈りが行われ、日程の設定に、風と雨の影響を考え、やきもきしましたが、2月11日（建国記念日）に火入れ作業が行われました。



スタート時25名程度の参加者でしたが、最後は何名か増えていたように思いました。

当コミからは中村史傳会長と宮野安弘主事が参加しました。薩摩川内市職員の方々、消防関係者、里地区の方々の参加が多かったように思いました。

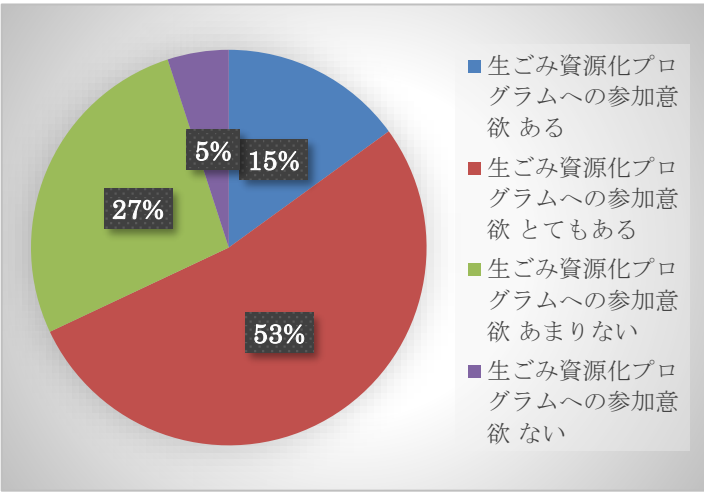
甌島観光の方々に咲きほこる鹿の子百合を堪能してもらえれば良いなと思いましたが、画像等での紹介や販売用の実物をお持ち帰りいただいて、甌島のアピールに繋がればこの行事に参加した者にとっても嬉しい事です。

生ゴミ説明会

昼間防災訓練が行われた2月12日。昼1名夜7名の方が、長浜地区ゴミで行われた説明会に参加されました。

先に行われていた家庭ゴミの約4割を占める生ゴミのアンケート回答に基づき説明会でした。回答数は700件で関心の強さが浮き出ています。

当地区では掲示板に張り出していますがこの資料の欲しい方は申し出て下さい。直ぐお届けします。



アマノリ(甘海)はどこに? (その1)

二月の寒波の襲来は近年にない寒さだった。関東地方在住時には氷点下となることもある町で四十年も過ごして帰郷した当初の冬はなんてシンスーラは温かいのだろうと裸でも飛び回れるくらいに感じた。しかし今年は一月中暖房をつけっぱなしにしなければならぬ寒さだった。

この様な寒(かん)があるとアミノイ(アマノリ)がよく育つといわれ二月終りから三月初めには競って「ノイ搔(か)き」に行き磯もにぎわっていた。

十二月下旬ごろから生え初めるノリは「カンノイ」と言って長く伸びるノリで、これは主として「クレオ(メジナ)釣り」用の餌(えさ)となるもので干して乾燥させ釣りに行く朝、煮くたして、袋に詰めていた。

クレオは敏感な魚で、山道を歩いてきたヤンバク(足中ぞうり)についた泥が流れ込むと魚が散ってしまうといわれる位なので釣り場では細心の注意を払ったようだ。

餌にもっていったカンノイはまき餌にしたり釣り針にまいて海におとす。まいたただけから、カンノリが散った瞬間にくらいつく。くらった瞬間にスツと海から引き揚げるのがクレオ釣いの極意と言われた。だからクレオ釣いは、引きを楽しむ釣

りではなかったようだ。

名人と言われた人は、ジンプー(順風から来たことばなのか、ベタなぎの状態よりは多少波があつて人影が海面に写らないくらいがよい。)の日には百も二百も釣って、トウラ

(俵)からはみ出てユオカイ(魚背負い人)まで出動させねばならなかった。

名人と言われた人が何人もいたがその名人がいつも大漁するわけではない。釣場、釣場でジンプーの状態はことなり誰かは大漁、誰かは不漁ということもあった。

クレオをさばく時は、さばく祖母か母の近くにあった。それは冬クレオはシラコやマコがはいっていて、それが入った魚に出会うと必ず、手渡しでもらってそれをつるりと呑み込むのが楽しみだったからだ。

どの魚でも白子や卵は鍋物の高級食材である。それをガキである私が食べていたのだから、誠にぜいたくな極みである。ところが餌に沖アミ類を使うようになってから、内臓が臭くて白子マコは食べる気がしなくなった。

やはり餌(エサ)はカンノリが一番だ。カンノリからアマノリに行くはずの話がいつしかクレオ釣り談議に「ワルノリ」してしまつた。アマノリに行くのは次回にして下さい。すみません

前の平展望所ライブカメラの修繕費用は議会を通過したようです。今しばらくお待ち下さい。